

## 適応指導教室の利用充実のため に運営方法の改善を

**質問** 町は那須烏山市と共同運営の適応指導教室「レインボーハウス」の運営にどのように関わってきたのか。

**答弁** 要保護児童対策協議会において不登校に関してもケース管理をし、各学校、教育委員会、児童相談所、教育事務所、レインボーハウス、健康福祉課等、関係機関が情報を共有し連携し取り組んでいる。

**質問** 施設の老朽化とともに「レインボーハウス」の運営の仕方でも世の中の流れに合っていないのではないか。不登校児童たちの居場所として活用するため、運営方法を改善していくべきではないか。

**答弁** 色々な人間関係づくりを学ぶということをしている、高根沢町の「ひよこの家」などの運営方



益子明美議員

ここが聞きたい

## 一般質問！

## 益子明美議員

法などもあり、今後の運営委員会の中で話をしていきたい。

**質問** 対象者はいるのに、利用が少ない現状をどのように考えているのか。

**答弁** 欠席が多いながらも登校ができてくるケースがあること、通学距離があること、通室にあたっての最終判断は本人及び家族の判断によるものが理由としてあげられる。



高根沢町にある「ひよこの家」

**質問** スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの設置と連携が、不登校対策に効果的であると考えるが、保護者や在籍校との連携を密にできるスクールソーシャルワーカーの設置を検討

できないか。

**答弁** 今年度から、町単独で配置しているスクールカウンセラーの活用の充実を図り対応していくので、現時点ではスクールソーシャルワーカーの導入は考えていない。

### 町長の所信を問う

**質問** 町が早急に対応しなければならぬ課題は何なのか。また、優先すべき事業は何か。

**答弁** 働く喜びを実感できるために積極的な企業誘致活動と6次産業の支援をすること。我が子のあふれる成長が実感できる町にするために、認定こども園を整備し安心して子育てができる環境の構築をすること。年老いても安心した生活が実感できる町にするために乳児から高齢者までの一貫した健康管理、訪問看護への取り組み、シルバースポーツの推進などに努めていく。

**質問** 元気で明るい町づくりのため、住民合意の政策を達成していくと述べられていたが、住民合意はどこで図られるのか。

**答弁** さまざまな機会で町民の声をお聞きし、それらを町政に反映

させる行政を実施する。

**質問** 住民合意という点からは、処分場問題では周辺地域小口・和見・小砂との合意形成はされていない。町長が述べる住民合意の町政は、この問題では達成されていないと考えるが、住民合意をとらないまま進めるつもりか。

**答弁** 住民の理解は得られていると考えているが、今後も事業の進捗状況に応じて皆様の理解が得られるよう進めて参りたい。

### 民生委員児童委員協議会の交付金の増額を

**質問** 地域福祉活動の核を成す民生委員児童委員協議会であるが、町として協議会のことをどのように考えているか。また、協議会と委員の皆様との研さんのため町交付金の増額をすべきではないか。

**答弁** 地域福祉向上のためボランティアとして活動している、民生委員児童委員協議会と委員の皆様には深く感謝の意を表します。協議会の活動強化と、各委員の資質向上を図ることは重要課題であると考えていることから、平成26年度予算編成において前向きに検討していく考えである。

Q 適応指導教室のあり方について

Q 所信を問う

Q 民生委員児童委員協議会について